



綱嶋教育長に寄付を手渡す坂井会長

10月18日、ボランティアサークルななかまどの会（坂井千枝会長）が、「な

なかまどのタペ」を洞爺湖文化センターで開催し、約130人の参加者が社交ダンスや抽選会で盛り上がりました。

開催に先立ち、坂井会長からななかまど文庫とボランティア振興基金に、収益金の一部3万円が、綱嶋教育長と菅原社会福祉協議会会長にそれぞれ贈られました。

アーサーマレー高田ダンスセンターの皆さんによるデモンストレーションのダンスや参加者のダンスタイムなどで楽しい秋の夜長を過ごしました。

## 慈善事業で町などに寄付 ボランティアサークルななかまどの会

## 彫刻や歌碑を清掃 高橋建設の奉仕活動

町内にある(株)高橋建設（高橋哲也社長）は、10月18日「洞爺湖ぐるっと彫刻公園」の彫刻や歌碑などの清掃ボランティアを行いました。

同社が、秋のビエンナーレ特別展に合わせて、観光客へのおもてなしの一つとして、平成17年から毎年実施しているもので、今回で9回目。今年は、約30人の社員らが参加しました。



彫刻を清掃する(株)高橋建設の皆さん

当日は、彫刻14基、銅像1基、歌碑2基をブラシで水洗いし、ピカピカに磨き上げました。

## 真剣勝負で盛り上がる 高齢者運動会

スポーツの秋の恒例イベント、第10回洞爺湖町高齢者運動会（同実行委員会主催）が、10月21日母と子の館体育館で開かれました。同運動会には、町内から65歳以上の男女約150人が参加し、個人競技や団体競技での真剣勝負に、楽しい1日を過ごしました。

当日は、赤、青、黄、緑の4グループに分かれ、「ボール運びリレー」「一発命中」「紅白玉入れ」など昼食をはさんで、7種目実施。



玉入れに熱中する高齢者の皆さん

参加した皆さんは、応援を背に、一つひとつの競技に元気に挑んでいました。



火山マイスターから説明を聞く温泉小の児童たち

昭和53年に発生した有珠山泥流災害で犠牲となった温泉小学校の

児童を追悼する防災教育「噴火慰霊祭」が、10月24日、温泉小学校で行われました。

今から35年前の有珠山噴火の翌年、昭和53年の10月24日に豪雨で大規模な泥流が洞爺湖温泉に発生。母子2名が犠牲、温泉小学校2年の児童が行方不明となりました。

同小では、毎年この日に慰霊祭を実施し、犠牲となった児童を悼み、防災への意識を高めてきました。

今年は、全校生徒45人が校内で黙とうを捧げ、引き続き西山火口散策路へ移動。噴火遺構などを見学して、防災に対する思いを新たにしました。

## 温泉小で噴火慰霊祭 有珠山泥流犠牲者を追悼